



議会のまど



くどうてつお
工藤哲雄 さん
(大久保)

議員が一致団結して
地域の問題の解決へ

合併して10年間、八幡平市はさまざまな分野で取り組みをしてきたと思います。これからはもっと地域にある人材やモノなどの資源を生かし、八幡平市全体のことを考えた施策の展開を期待します。

議会には、少子高齢化のような共通の認識を持つことができる地域の問題に対しては、22人の議員全員が一致団結して取り組んでほしいです。また、議会だよりや議員と語る会、議会映像の公開などを通して、若い人たちが議会に興味を持つようなことをさらに進めてもらいたいです。

冬

季国体に向けて取り組みが活発になってきました。何か市民が参加できることはないかと思っています。

(大更・52歳女性)

議

会まどの観光施策への意見に同感です。八幡平市の観光に対する考え方が全く分かりません。

(松尾寄木・66歳男性)

柏

台の教員住宅も長期間空き家となっています。有効活用できないでしょうか。

(柏台・38歳女性)

若

い人たちの働く場所があり、子育てがしやすい地域が大事だと思います。

(吠田・73歳女性)



クイズで寄せられた意見などを紹介します。

地

元で働きたいです。毎日通勤に1時間かかるのはキツイです。(野駄・35歳男性)

議

会だよりを読んで、時間を見つけて必ず傍聴しに行きたいと思いました。

(松尾・65歳女性)

議

会だより「ギカイのひろば」はカラーで見やすいです。堅い感じから柔らかく暖かいイメージに変わりました。(平館・51歳女性)

議

会だよりは字が大きくて見やすかったです。クイズ懸賞もあるのは驚きです。(鹿角市・37歳女性)

今回の表紙



盛岡市役所
永井健弘 選手

ながい・たけひろ
29歳 田山中卒

昨

シーズンは、冬季国体スキー複合成年男子Bで準優勝を果たした永井健弘選手。10月16日から18日まで行われた鹿角サマージャンプ・コンバインド大会の成年ジャンプで見事優勝した。3カ月後に迫った地元国体。「岩手を盛り上げるためにも何としても優勝したい」と語る公務員アスリートが狙うのは地元での表彰台の真ん中だ。

平成27年第3回定例会
傍聴者数

54人